

第 75 回北海道高等学校 P T A 連合会大会（空知大会） 開催要項

- 1 主 催 北海道高等学校 P T A 連合会
- 2 共 催 一般社団法人全国高等学校 P T A 連合会
- 3 後 援 北海道教育委員会 北海道高等学校長協会 長沼町 長沼町教育委員会
岩見沢市 岩見沢市教育委員会
- 4 主 管 北海道高等学校 P T A 連合会 空知支部 主管校 北海道長沼高等学校
- 5 期 日 令和 8 年 6 月 6 日（土）、7 日（日）

	内 容	時 間	会 場	
6 日 (土)	総会受付	10:40-11:00	岩見沢市民会館・文化センター 【音楽室】	
	総会	11:00-12:00		
	全体会受付	12:30-13:30	岩見沢市民会館・文化センター 【大ホール】	
	全体会	開会式・表彰式		13:30-14:20
		講演		14:30-16:00
	教育懇談会受付	17:30-18:00	岩見沢平安閣	
教育懇談会	18:00-19:30			
7 日 (日)	受付	9:00- 9:30	各分科会会場	
	分科会	9:30-12:00		

- 6 会 場

6 日（土）	総会・全体会	岩見沢市民会館・文化センター 岩見沢市 9 条西 4 丁目 1-1	電話 0126-22-4233
	教育懇談会	岩見沢平安閣 岩見沢市 5 条東 2 丁目	電話 0126-23-4581
7 日（日）	第 1 分科会	岩見沢東高等学校 岩見沢市 並木町 30	電話 0126-22-0071
	第 2 分科会	岩見沢農業高等学校 岩見沢市 並木町 1-5	電話 0126-22-0130
	第 3 分科会	岩見沢緑陵高等学校 岩見沢市 緑が丘 74-2	電話 0126-22-1851
- 7 大会主題 「新時代をひらく若者を共に支えよう～本音の語らいから生まれる PTA の活力～」
- 8 大会メッセージ 『多様な課題や悩みを抱えた子どもたちを支え育むために』
～北海道の中央部、自然・産業・文化・食がバランス良く調和した空知で、
家庭・学校・地域の連携を確認しながら、共に語り合しましょう～
- 9 講 演 演 題 「多角的な視点(拠点)による発想とチャンス」
講 師 鈴井 貴之 氏（タレント・構成作家）
- 10 分科会テーマ 第 1 分科会 教育相談「思春期の子どもとどう付き合うか」
第 2 分科会 地域連携「地域の未来をひらく＜学校教育×金融機関×地域＞連携の可能性」
第 3 分科会 PTA 活動「持続可能な高校 PTA を目指して」
- 11 費 用 申込システム登録料 330 円 大会参加料 4,000 円 集録本 1,000 円
教育懇談会費 6,600 円
- 12 参加申込 参加申込(Web)・問合せ
申込先 株式会社 日本旅行北海道 旭川支店
連絡先 0166-26-0401 Email yuji_yokoyama@nta.co.jp
(営業時間 月～金 10:00～13:00、14:00～17:00 土・日・祝休業)
- 13 申込締切 令和 8 年 5 月 1 日（金）
- 14 事務局 北海道長沼高等学校内 第 75 回北海道高等学校 P T A 連合会大会（空知大会）事務局
夕張郡長沼町旭町南 2 丁目 11-1 電話 0123-88-2512

講演

演題 「多角的な視点(拠点)による
発想とチャンス」

講師 すずい たかゆき
鈴井 貴之 氏

(タレント・構成作家)



《略歴》

1962年5月6日生 出身地：北海道赤平市

大学在籍中に演劇の世界に入り、1990年に劇団「OOPARTS」を結成。
「OOPARTS」解散後は、タレント・構成作家としてHTB「水曜どうでしょう」などの数々の番組の企画・出演に携わる。

2001年より映画監督としても活動を開始。現在までに4作のメガホンを執る。2015年、TX「ドラマ24『不便な便利屋』」で自身初の連続ドラマ脚本・監督を務める他、作家としても活動。

2010年、「OOPARTS」再始動。2022年までに6作の舞台公演を上演、表現の枠にとらわれない作品を生み出している。

第10回あきた十文字映画祭北の十文字賞 ('01/MAN-HOLE)

第15回福岡アジア国際映画祭審査員特別賞 ('01/MAN-HOLE)

北海道新幹線特任車掌 ('15)

そらち応援大使 ('18～)

北海道コンサドーレ札幌オフィシャルサポーター ('21～)

「北海道動物愛護センター早期建設を実現する会」スペシャルアンバサダー('22～)

その他、メディア出演・著作等多数

第75回北海道高等学校PTA連合会大会（空知大会） 分科会の御案内

第1分科会（教育相談） <会場：岩見沢東高等学校>

○テーマ 「思春期の子どもとどう付き合うか」

～スクールカウンセラーとして、一人の母として～

○テーマ設定趣旨

高校生は自立へ向かう一方で、まだ不安定さも残る時期です。「自分で決めたい気持ち」と「支えてほしい気持ち」が揺れ動き、保護者にとって関わり方が難しくなります。手を出しすぎれば干渉になり、距離を置きすぎれば放任と受け取られることもあります。

また、現代の高校生は学業や進路の悩みに加え、SNSや人間関係など多くのストレスにさらされています。だからこそ、家庭が安心して戻れる場所であることが大切です。そのためには、親が「見守る」と「支える」を状況に応じて使い分け、子どもの自立を後押しする関わり方が求められます。

本分科会では、高校生の成長を支えながら自立を促すための、ちょうどよい距離感について考えていきます。

○ファシリテーター 北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課

生徒指導係 課長補佐

稲川 洋生 氏

○話題提供者

スクールカウンセラー

中野 ひろみ 氏

第2分科会（地域連携） <会場：岩見沢農業高等学校>

○テーマ 「地域の未来をひらく<学校教育×金融機関×地域>連携の可能性」

○テーマ設定趣旨

人口減少や地域産業の変更が進む中、学校教育には、子どもたちが将来に希望を持ち、自ら地域や社会の課題に向き合い、主体的に行動できる力を育成することが一層求められています。学力の定着に加え、探究的な学びやキャリア教育、地域理解教育の充実は、これからの学校教育の重要な柱となっています。

こうした中、金融機関は地域経済の現場に根差し、多様な企業や人材と日常的につながりを持つ存在であり、金融機関が有する実務的知見やネットワークは、金融リテラシー教育にとどまらず、地域産業の理解、起業、ビジネス体験、課題解決型学習など、幅広い教育活動に活用できる可能性を持っています。

本テーマでは、「学校教育×地域×金融機関」が連携することで、子どもたちの学びが教室内に閉じることなく、地域社会と結びついた「生きた学び」へと発展するあり方を探ります。

空知信用金庫がこれまで携わった「学校×地域企業×空知信金」の事例を紹介し、教育現場のニーズを起点に、連携の形や授業づくりの工夫、持続可能な協働体制について共有し、分科会参加者による小グループでの話し合いを通じて、相互理解を深めるとともに、地域の未来を担う人材育成につなげることを目的としています。

○ファシリテーター 北海道岩見沢農業高等学校PTA会長

室 永 雅 人 氏

○話題提供者

空知信用金庫 地域支援部 副部長

田 中 一 成 氏

第3分科会（PTA活動） <会場：岩見沢緑陵高等学校>

○テーマ 「持続可能な高校PTAを目指して」

～「義務」から「共感」へ、令和時代の組織づくり～

○テーマ設定趣旨

少子化や共働き世帯の増加、教職員の働き方改革など、社会環境が急激に変化する中、従来の「前例踏襲」や「義務的な動員」を前提としたPTA運営は大きな岐路に立っています。負担感ややらされ感が先行する活動は持続可能性を欠き、結果として保護者の関心を遠ざけ、組織の形骸化を招きかねません。

本分科会では、「持続可能な高校PTA」をテーマに、時代に即した組織改革について協議します。行事や会議の精選（スリム化）、ICT活用による効率化、そして「義務」から「共感」に基づく参加しやすい活動への転換はどうあるべきか。高校生の成長と自立を支えるパートナーとして、保護者も教職員も無理なく、前向きに関わり続けられる「令和時代の新しいPTAモデル」を共に探ります。

【協議1】PTA活動の負担軽減と効率化の具体策

（例：役員選出の悩み、行事の精選、ICTの導入事例、総会の書面化など）

【協議2】保護者が参加したくなる活動とは

（例：エントリー制の導入、「手伝い」レベルの参加枠、広報紙のWEB化、メリットを感じる研修会）

○ファシリテーター 北海道岩見沢緑陵高等学校 PTA

株式会社マクニカ官公ソリューション推進室

栗 林 千奈美 氏

○話題提供者

北海道夕張高等学校長

熊 谷 孝 宏 氏